

高病原性鳥インフルエンザ発生に備えた管内関係機

関連連携強化の取り組み：岡山県高梁家保 荒木由季子、
森真理子

令和 4 年高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）連続発生時の防疫対応の課題を踏まえ、防疫対応の円滑化を目的に、「備中県民局高病原性鳥インフルエンザ発生対応総合計画策定会議」を設置。構成員は備中県民局農畜産物生産課、高梁・新見各地域の農林水産事業部・地域総務課・保健課・建設部等。家保は防疫上課題を有する農場を選定し、関係機関と共に防疫計画の見直しを実施。具体的には① HPAI 発生時に直ちに必要となる動員者輸送バスのルート、運行計画および車両待機場所等の現地調査の実施、② 農場テントレイアウト、重機の作業動線等について農場関係者と共に再度確認し既存の計画を修正。更に、市・農協と防疫体制や利用可能施設についても協議。これらを発生対応総合計画として関係機関で共有。関係機関と共に防疫計画の見直しに取り組んだ結果、各地域の連携が強化され、より実効性のある防疫計画に改善。今後、一丸となった取り組みを継続実施予定。